

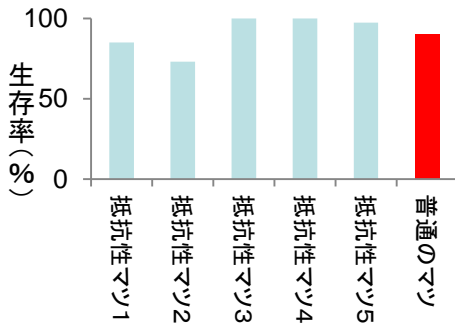
マツノザイセンチュウ抵抗性マツの改良

(農林センター 森林技術センター)

より抵抗性が強いマツの家系を選抜するため、検定法を改良し、抵抗性の強弱をより正確に比較できるようにしました。

従来の検定方法

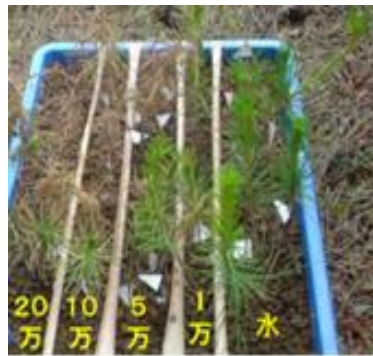
京都府の試験地では、抵抗性マツ相互や普通のマツとの生存率の差が明確に出なかった。



線虫を接種した苗木の生存率
(従来の方法：シバラ系統)



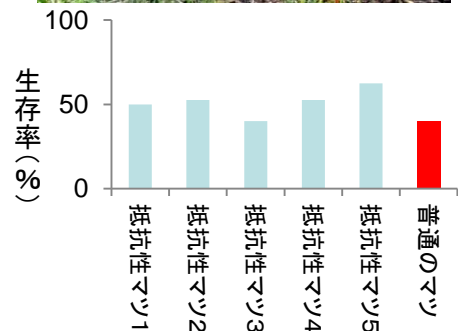
毒性の強いセンチュウ
への変更



センチュウの接種量
等の改良

改良した検定方法

普通のマツの生存率が低くなり、抵抗性マツ相互の差も出やすい。



線虫を接種した苗木の生存率
(改良した方法：ka4系統)

- 使用するセンチュウの系統を、より毒性の強いものに変更
- センチュウの接種量を従来の10倍に増量
- これらの変更により、抵抗性の比較データが向上

- 安定した抵抗性を示す母樹からの採種に限定することにより、生産される抵抗性マツ種子の抵抗性が向上する。
- 今後、新しい検定条件で引き続き検定を行い、高い抵抗性を示した母樹だけを残すことで、より強い抵抗性マツの生産をすすめる。